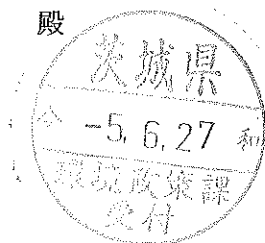


## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 27 日

茨城県知事

大井川 和彦 殿



提出者

住 所 東京都港区京橋2-16-1

氏 名 清水建設株式会社

代表取締役社長 井上 和幸

電話番号 03-3561-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

※茨城営業所担当者 大高 良典 [E-mail Yoshi\_ohtaka@shimz.co.jp]

事業場の名称	清水建設株式会社 東京支店 茨城営業所
事業場の所在地	茨城県水戸市城南2-1-22 電話：029-224-2801
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業・一般土木建築業 国土交通大臣許可（特・般-01）第3200号
② 事業の規模	元請完成工事高 235億円（茨城営業所 令和4年度）
③ 従業員数	76人（茨城営業所 令和5年3月末現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1の通り

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙－2及び「シミズの廃棄物リサイクルガバナンス」による。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	排 出 量	同上 t	t
	(これまでに実施した取組)  別紙－4の通り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	排 出 量	同上 t	t
	(今後実施する予定の取組)  別紙－4の通り		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙－4の通り
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙－4の通り

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	同上 t	t
	（これまでに実施した取組）  別紙－4の通り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	同上 t	t
	（今後実施する予定の取組）  別紙－4の通り		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	同上 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	同上 t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙－4の通り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	同上 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	同上 t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙－4の通り		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	同上 t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙－4の通り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	同上 t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙－4の通り		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	全処理委託量	同上 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	同上 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	同上 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	同上 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	同上 t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙－4の通り		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－3の通り	
	全処理委託量	同上 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	同上 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	同上 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	同上 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	同上 t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙－4の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

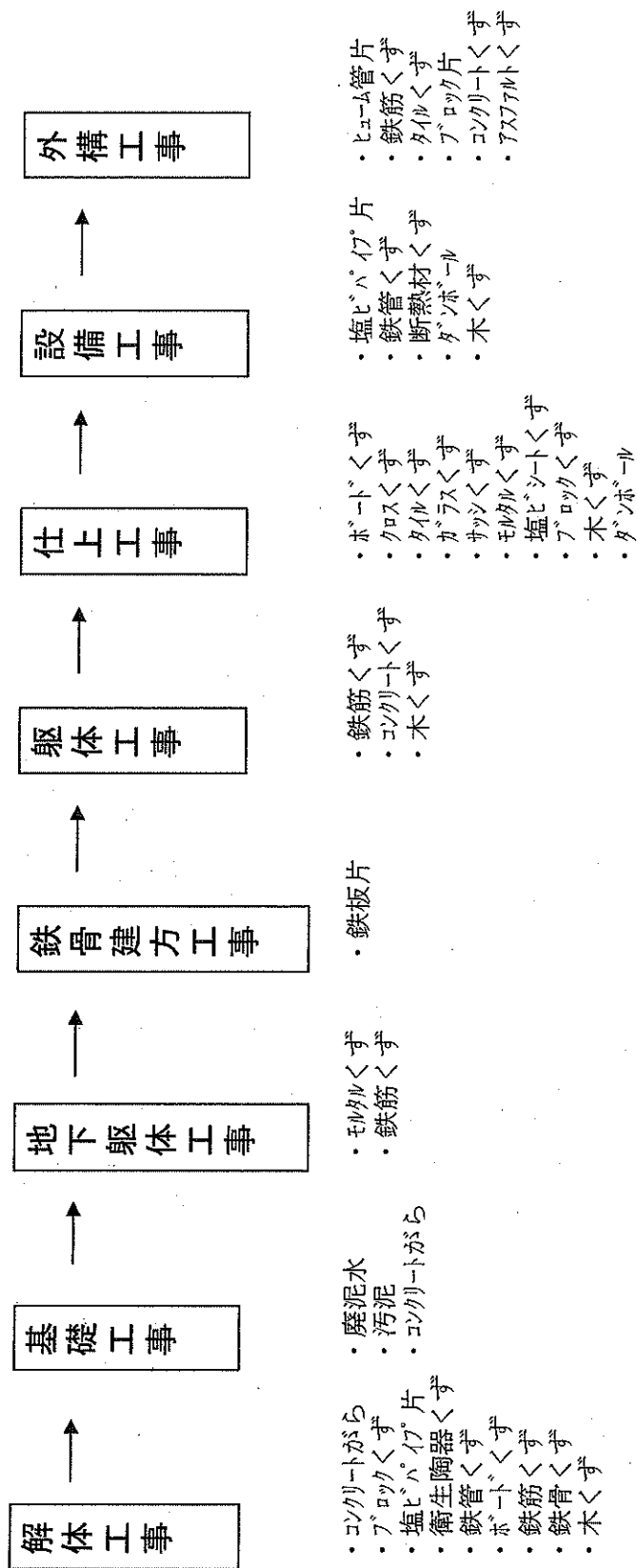
## 事業の概要

資 本 金	743 億円 (令和4年10月1日現在)			
従 業 員 数	茨城営業所	76 人	(令和 5年 3月末現在)	
製 造 出 荷 額 等 又 は 元 請 完 成 工 事 高	茨城営業所 (全域)	235 億円	(令和4年度)	
製造概要、製造等フローシート (建設業においては、排出概要、排出等フローシート)		工場配置図 (建設業においては、現場配置図)		
排出する産業廃棄物の種類：  茨城県内で得意先が固定してないため、 発注毎に工事を行う場所が散在し、かつ 建物規模・用途が違う事により、廃棄物が 一定していない。 排出 フローシートは別紙-1(2)による。		現場の住所(地番)等：  概算 令和 5年 3月 31日現在 稼働現場 7 件  上記稼働現場は別紙-1(3)リストによる。		
※1 建設工事請負実績茨城県内のみ(件数金額)		( 4 件 97 億円 )		
事業展望		廃棄物発生フロー		
建設業として社会の停滞状況を考えると 現状維持は難しく、やや低調に推移する。		<pre> graph TD     A[現場] --&gt; B[再使用]     A --&gt; C[委託契約]     C --&gt; D[最終処分場]     C --&gt; E[リサイクル施設]     C --&gt; F[中間処理施設]     F --&gt; G[再生資材]     F --&gt; H[リサイクル資材]     F --&gt; I[安定型最終処分場]     I --&gt; J[管理型最終処分場]       </pre>		
担当者	所 属	職 名	氏 名	電 話
	茨城営業所	安全長	大高 良典	029-224-2801

※1 については、建設業以外の業種は記載の必要はない。

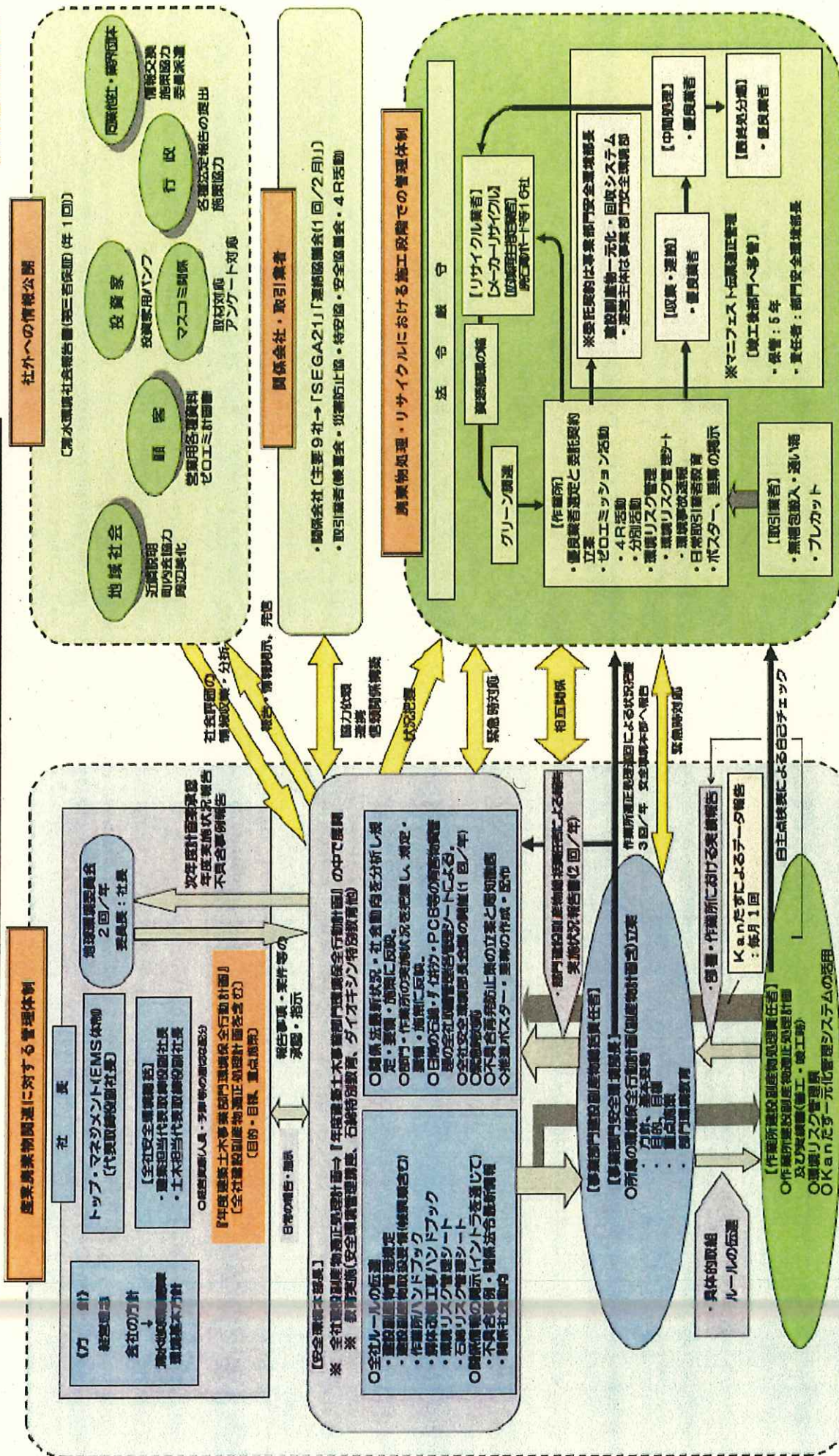
産業廃棄物発生のフローシート

《建築工事の例》



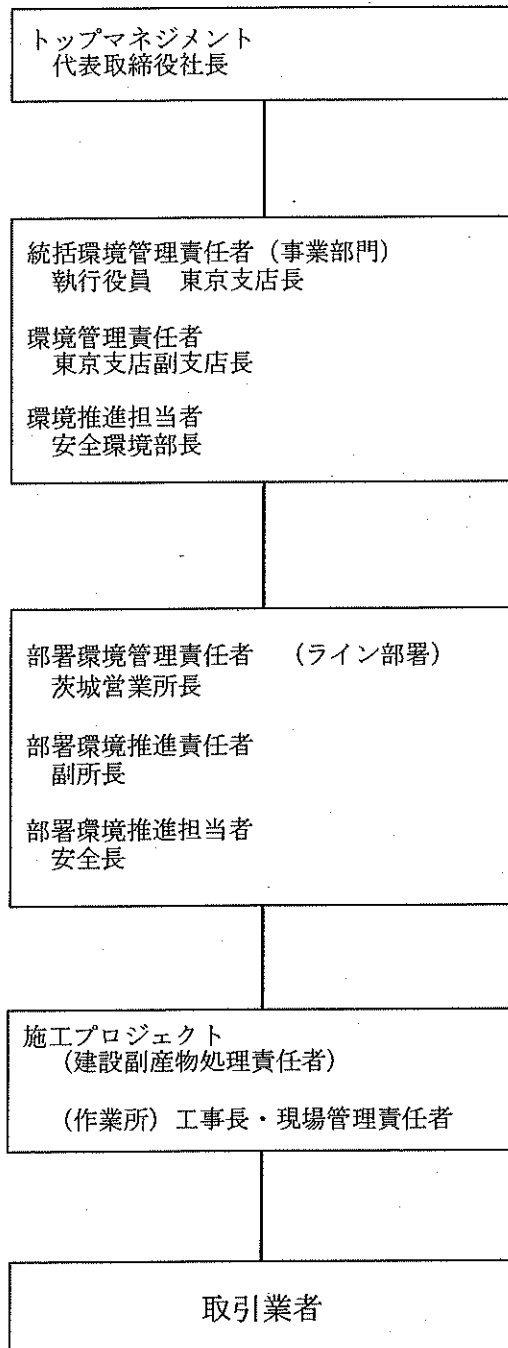


令和5年3月31日現在



## 茨城営業所 環境マネジメント組織図

令和5年4月1日





## 別紙-3(1)

[illegible]

## R4年度実績及びR5年度目標値(2)

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	紙くず		繊維くず		廃油		電線くず		蛍光管		燃え殻		建設混合 廃棄物		磨石綿等		合計	
	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕	実績[t] 〔R4〕 〔年度〕	目標[t] 〔R5〕 〔年度〕
排出量	7.4	6.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	446.1	400.0	4.8	4.0	17,531.6	14,590.0
自己再生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己熱回収量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己中間処理減量化量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己埋立処分又は 海洋処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委託量	7.4	6.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	446.1	400.0	4.8	4.0	17,531.6	14,590.0
優良認定業者 への処理委託量	1.7	1.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	55.9	50.0	3.6	3.0	3,357.2	2,671.0
再生利用業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者以外 の熱処理回収を行う 業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	3.1	0.0

別紙4. (1)

〈産業廃棄物の排出の抑制に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック	・ 作業所毎に原単位、最終処分率の目標を定め、係員・作業員・取引業者の末端まで周知を図り、4 R 運動及びゼロミッションの推進と減量化に取り組む。	・ (令和5年度目標) 総量原単位 15.5 k g / m <sup>2</sup> 最終処分率 5.2%以下
ゴムくず	同 上	同 上
金属くず	同 上	同 上
ガラス・陶磁器く	同 上	同 上
がれき類 (コンクリート)	同 上	同 上
がれき類 (アスファルト)	同 上	同 上
がれき類 (その他)	同 上	同 上
汚 泥	同 上	同 上
木 く ず	同 上	同 上
紙 く ず	同 上	同 上
繊維くず	同 上	同 上
廃 油	同 上	同 上
電線くず	同 上	同 上
蛍 光 管	同 上	同 上
建設混合廃棄物 (安定型)	同 上	同 上
建設混合廃棄物 (管理型)	同 上	同 上
廃石綿等	同 上	同 上

別紙 4. (2)

〈産業廃棄物の分別に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック	・作業所の状況により分別の細分化を図り、中間処分場施設への持込原単位の減少化を行う。	・更なる教宣活動を行う。
ゴムくず	同 上	同 上
金属くず	同 上	同 上
ガラス・陶磁器くず	同 上	同 上
がれき類 (コンクリート)	同 上	同 上
がれき類 (アスファルト)	同 上	同 上
がれき類 (その他)	同 上	同 上
汚 泥	同 上	同 上
木 く ず	同 上	同 上
紙 く ず	同 上	同 上
繊維くず	同 上	同 上
廃 油	同 上	同 上
電線くず	同 上	同 上
螢 光 管	同 上	同 上
建設混合廃棄物 (安定型)	同 上	同 上
建設混合廃棄物 (管理型)	同 上	同 上
廃石綿等	同 上	同 上

〈自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項〉

〈自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項〉

〈自ら行う産業廃棄物の埋立処分 又は 海洋投入処分 に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
弊社は収集運搬業、中間処理業の許可を取得していないため、該当なし		

別紙4. (3)

〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック	・作業所毎に適正処理の中間処理施設を選び、排出前に2者契約を行ない、マニフェスト伝票管理による最終完了を確実に行う。	・更なる教宣活動を行う。
ゴムくず	同 上	同 上
金属くず	同 上	同 上
ガラス・陶磁器くず	同 上	同 上
がれき類（コンクリート）	同 上	同 上
がれき類（アスファルト）	同 上	同 上
がれき類（その他）	同 上	同 上
汚 泥	同 上	同 上
木 く ず	同 上	同 上
紙 く ず	同 上	同 上
繊維くず	同 上	同 上
廃 油	同 上	・油水分離処理し再生重油として販売する優良認定処理業者に処理委託する
電線くず	同 上	・更なる教宣活動を行う。
螢 光 管	同 上	同 上
建設混合廃棄物 （安定型）	同 上	同 上
建設混合廃棄物 （管理型）	同 上	同 上
廃石綿等	同 上	同 上



## 令和5年度産業廃棄物処理計画における目標値

[illegible]